

様式2 令和元年度 清瀬市立清瀬第十小学校 学校評価表

学校教育目標	・豊かに感じ、よく考える子ども ・友達の良さがわかり、助け合う子ども ・心身をきたえ、明るく生きていく子ども	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	・昨年度同様、指導の最重点項目を「確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実践を重視した教育活動を行う。」とした。それに伴い主体的・対話的で深い学びとなるよう、学習内容を工夫して展開する資質や能力を教員が身に付ける必要がある。そこで管理職による授業観察及び教員同士の相互授業参観を通して全教員の授業力向上を図る。 ・本校の特色ある教育活動を3つにまとめた。昨年度から水曜日6時間授業を展開することにより5,6学年で年間70時間、3,4学年で年間35時間の外国語活動の授業時数を確保している。今年度は1,2学年でも朝学習の時間に英語遊びを取り入れるなど指導の充実を図る。また体験や活動を通して伝統文化の良さを理解させることも継続して特色ある教育活動として取り組む。
目指す学校像（ビジョン）	【目指す学校像】①児童にとって明るく楽しく安心してできる学校 ②教職員にとって明るく楽しく指導が行える学校 ③保護者や地域から信頼される学校 【目指す児童・生徒像】人として大切なこと、将来、社会に出た時の基本を身に付けている児童 【目指す教師像】児童に達成感を味わわせ、確かな学力・自尊感情を育ませることのできる教師		
前年度までの学校経営上の成果と課題	成果 取組指標、成果指標それぞれが「4」と一番高かった項目は、確かな学力の向上として定めた「週の指導計画の内容の充実」であった。学校関係者評価も「4」と高くなっており教育活動が意図的に展開されている。 課題 取組指標が「1」成果指標が「3」と一番低かった項目は、本校の特色①として定めた「日本や郷土の自然や文化を大事にする児童の育成・体験や活動を通して伝統文化の良さを理解」であった。一昨年度と比較して児童の学習満足度は上がったが、教員の伝統文化における教育活動の意識が低かった。		

柱	具体的方策	自己評価				学校関係者評価	
		評価		課題と次年度以降の対策	評価	コメント	
		取組指標	成果指標				
確かな学力の向上	週の指導計画に学習のねらいや活動を記入し、授業ではめあてや流れも明示することで分かりやすい授業を行う。	3	4	課題 授業の中で児童同士が話し合いながらさらなる学びを深めていくこと。 対策 研究発表参観やOJT研修を通して他校など様々な実践を学ぶ。	4	意見を積極的に出し合う、活発に話し合うなどこれから期待する場面も多い。	
	教員相互で授業参観の機会を作り、事後に協議を行わせて授業改善を図る。	3	4	課題 授業参観はできたが授業改善までいらないこともあった。 対策 校内研究における協議会で、よりクリティカルな話し合いになるよう企画し授業改善につなげる。	4	特定の教科のみでなく、学年も教科も越えて様々な刺激を受けていってほしい。	
豊かな心の育成	来校者や教職員、地域の人にすすんであいさつできるようあいさつ運動を取り入れて指導する。	3	3	課題 来校者や地域の方々への挨拶ができていない。 対策 あいさつ運動の頻度を上げることだけに目を向けるのではなく、質の向上に目を向けるような挨拶運動や指導を展開する。	3	児童が思っているより、挨拶の声は聞こえないが、声を掛けていきたい。積極的に挨拶をしているとは思えない。	
	アセスやアンケートをもとに、いじめ調査を定期的実施する。いじめがあった際は、いじめ防止対策委員会等で適切に対応する。	4	4	課題 いじめを0にすることができなかった。 対策 定期的にアンケートやいじめ防止対策委員会を開催し、いじめを未然に防ぐ。	4	とてもきめ細かく対応しているように感じた。	
健やかな体の育成	なわとびの出前授業の実施、学習カードの活用、教員の実技研修を行うことで指導の工夫改善を図る。	4	3	課題 教員の実技研修が実施できなかった。 対策 外部講師の都合がつかなくともOJT研修で教員同士学び合う。	4	外遊び、体を動かす時間が増えてよいと思う。	
	「早寝・早起き・朝ごはん」の実践を様々な機会に働きかける。	2	4	課題 保健便りや給食便りなど文書での啓発に頼ってしまった。 対策 継続した学級指導や保護者会による説明で児童や保護者の意識を高めていく。	4	今後も少しずつでも向上していくとよい。	
本特校色の①	蚕学習や石田波郷俳句作りへの参加、郷土カルタや百人一首の活用を充実させる。	3	4	課題 高学年児童の満足度が低・中学年と比べると低かった。 対策 授業改善を図り、児童の意欲を高めることで満足度を高める。	4	学年による差もあるかと思うが全体的によいと思う。	
本特校色の②	校内研究を外国語活動とし、授業力向上、教材開発を充実させる。	3	3	課題 外国語活動の取組を保護者へ周知し、参観していただく機会が少なかった。 対策 授業公開で3年生以上は外国語活動を設定する。	3	とても熱心に取り組まれている。児童にとって英語授業が定着しつつあると思う。また教員の努力も感じられる。	
本校の特色②	係・当番活動・清掃活動を充実させる取組みを実施する	4	4	課題 清掃分担場所が児童の適材適所になっておらず、教員の見回り体制も不備が見られた。 対策 清掃分担場所の配置変えと共に、教員が特別教室や廊下階段も清掃指導するという意識を高める。	3	毎日掃除してもすぐに汚れるのは仕方ないが自分のではないごみを拾うなども課題である。清掃時、もう少しいろいろな場所を見回りをしてもよいと思う。外で使う竹ぼうきの補充もしてほしい。	
	学校便りやホームページ、学級便り・専科便り等での発信を行い、保護者や地域の方の学校への理解を深め、ボランティア活動等教育活動への協力を促す。	3	4	課題 ボランティアを十小の会に急遽依頼することがあった。 対策 学校支援本部を立ち上げボランティア体制を充実させる。	4	地域への発信も十分されていると思う。保護者も学校への関心が高い。	